

ひだまり

札幌市立明園中学校

保健室

R2. 9. 16 発行

2学期が始まり、校外学習・宿泊学習・修学旅行を終え、集団として皆さんの成長がみられました。そして、今日は前期テスト2日目。一人一人の学習の努力の成果が、今日のテストで発揮できていることを願っています！さて、明日は尿検査です。以下の説明をしっかりと読み、検診に備えてください。

明日は尿検査の日です



尿検査では、尿に「たんぱく」や「糖」、「血液」が混じっていないかを調べます。「腎臓病」や「糖尿病」は、自分では気づきにくい病気なので、尿検査でそれらの病気の手がかりを見つけることがとても大切なのです。

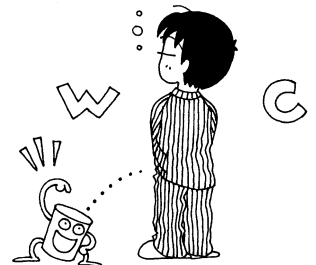
腎臓は、腰のあたりに左右1つずつあり、そら豆のような形をしています。腎臓に送られてきた血液の中から、いらなくなったものを取り除き、水分と一緒に尿として膀胱に送ります。1日に1~1.5リットルの尿が作られます。

下の注意事項をよくご覧ください。

■本日、試験管（スピッツ管）・ラベル・紙コップ・お知らせのプリント（両面印刷のこのお便り）が配付されます。

■明日（17日）の朝は、

- 1 起きたらすぐに尿をとります。出はじめの尿を少し流してから、中間の尿を紙コップにとります。
- 2 試験管（スピッツ管）の8分目まで入れてください。そして、ふたをしっかりとめます。
- 3 ラベル（学年・組・出席番号・氏名を記入）を試験管（スピッツ管）に貼ります。
- 4 必ずビニール袋に入れて持参してください。



※女子は、月経時も尿検査を行います。1次検査においては、ラベルに○印などをつける必要はありません。

※裏面の説明から、一点だけ変更があります。明日、出席停止や欠席となった場合は、感染症対策のため、検体持参の必要はありません（2次検査を受けます）。

■朝学活で、試験管立てに出席番号順に立ててください。試験管立てに立てるときには、ビニール袋から出し、ふたにテープなどをつけているときは必ずはずしてください。

検査結果については、陽性の人（2次検査9月30日実施）のみにお知らせいたします。

尿検査のお知らせ

1. 検査の項目

検尿は、たんぱく、糖、潜血の3種類について、検査します。

2. 尿をとる前日の注意

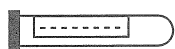
- 汗をかくような、はげしい運動はなるべくさせないでください。
- たくさんの糖分やビタミンCが含まれている食べ物（おかし類）やのみもの（ジュース類）をとりすぎないようにしてください。
- 必要以外の薬はのませないでください。
- ねる前には必ず排尿させてください。

3. 尿をとる時の注意

- 尿は朝起きてすぐの尿をとってください。
- 男女共できれば排尿中間の尿をとってください。

4. 尿のとりかた

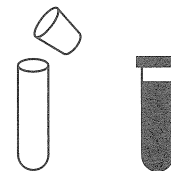
- ① ラベルに園・学校名、番号、氏名をボールペン等で、はっきり書いて試験管にはってください。



- ② 紙コップに尿をとります。

- ③ 尿を紙コップから試験管にうつして、しっかり栓をします。

※ 尿の量は試験管の8分目までいれてください。



- ◎ 提出時には、ビニール袋に入れて持参してください。

- ◎ 当日お子さんが欠席の場合は、お友達にたのむか、ご家族の方が必ず9時までに園・学校にとどけてください。

[検査日 月 日]

5. 検査の結果

- 異常がなければ、特に通知しませんのでご了承ください。
- 尿の中に、たんぱく、糖、潜血が出た場合、次のことが考えられます。

たんぱくが出たとき	○じんぞう病 ○起立性たんぱく(立っているときたんぱくが出て、寝ると出ない) ○はげしい運動でつかれたとき、きんちょうしたとき、間食を多くとったとき
糖が出たとき	○糖尿病 ○さとう、野菜を多くとったとき
潜血が出たとき	○じんぞう病 ○外陰部の傷、生理

※ したがって、一回目の検査で尿にたんぱく、糖、潜血が出ても病気とはかぎりません。

- そこで、今回の検査で、たんぱく、潜血が出たお子さんには、日をあらためてもう一度尿をとってもらいますので、後日通知します。
- ただし、今回の検査で、糖が出た場合は、早急な対応が求められるケースがあるため、ただちに検査機関で精密検査をおこない、その結果、専門医受診が必要かを判定して、ご家庭へ連絡します。
- 現在治療中、観察中のお子さんは尿検査時に異常はみられない場合もありますので、主治医の指示に従ってください。